

切磋琢磨



令和元年8月28日
恵那市立恵那東中学校
恵那市大井町 1073-1
TEL (0573) 25-5261

地域と共に歩む東中生

校長 伊藤 勝彦

長い夏休みが終わり、いわゆる2学期が始まりました。生徒たちは充実した夏休みの生活を終え、新たな目標をもって第4ステージの生活に臨んでいます。第3ステージ「質」までに学級や学年で創り上げた数多くの誇れる事実が背景にあるため、たいへんすばらしい質の高い第4ステージのスタートになっています。現在、夏休みの学習の成果を実力テストや期末テストで試し、いよいよ体育大会への本格的な取組が始まろうとしています。1年間の中で最も活気溢れる東中の生活になってくるものと思われます。

さて、この夏休み恵那東中学校の生徒はいろんな方面で活躍をしました。その1つが地域と共に活動し、地域と共に歩む東中生の姿です。まず、昨年から実施している防災活動がこの夏も継続して行われています。DPL 恵那東防災リーダーの生徒たちが3回の防災実行委員会の中で9/1に実施される防災訓練に向けて、自分たちの防災に関する知識・技能を高めるための研修を行ったり、大井町自主防災隊を中心とした地域の方々と9/1の防災訓練の活動内容を確認したりしながら、昨年度以上のものにしようという意気を感じて取り組んできました。生徒たちの防災や地域に対する意識は昨年度以上に高く、地域の共に歩む活動として着実に位置付きつつあります。8/10に行われた恵那市生涯学習フォーラムでは、昨年からの恵那東中学校の防災活動の取組を可知映羽さんを中心とした防災リーダーの生徒たちが発表しました。岐阜大学の高木朗義先生を初め、多くの方々から多くの賞賛の声をいただきました。全国的にも中学生と地域とが一体となった防災活動は、今後も注目されていくものと思われます。



恵那市生涯学習フォーラムの様子

今年度は、この他にまちづくりにも中学生が一役買う活動を行っています。1年生は「まちなか市を盛り上げるプロジェクト」として、約40名の生徒たちが空き店舗を利用してお化け屋敷やカフェなどをまちなか市当日に実施しようと地域の方々と共に企画しています。一方2年生は、約50名の生徒たちが「中山道ほうかご作りプロジェクト」と題して、大井町中山道の町並みを活性化させようとさまざまなアイデアを出しつつ地域の方々と企画しています。これらのまちづくりの取組はいずれも本年度から始まった新しい取組です。中学生と地域の方々が一緒になって校区を活性化しようという取組です。中学生は将来恵那を担っていくきわめて重要な人財でもあります。生徒たちが地域の方々と共に地域のことを考え、地域の方々と共に活動しながら歩んでいくことは恵那東中学校の使命でもあると思っています。防災活動を含めたこれらの取組は、中学校では令和3年度からスタートする新しい学習指導要領にもある「社会に開かれた教育課程」を具現するものでもあり、これからの社会を担っていく生徒にとっても必要不可欠な力を養っていく機会にもなっていると思っています。

これからも、地域と共に歩む恵那東中学校の生徒に温かいご支援とご声援をよろしくお願いします。



まちなか市を盛り上げるプロジェクト



中山道ほうかご作りプロジェクト